

子ども達の健康と未来を考える

市民のための連続講座

～放射線被ばくから子どもを守るために、私達ができること～

講座日程 ・5か月連続
・月1回土曜日の午後(1回でも参加出来ます)

第1回 放射線・放射能とは何か
10月22日 市原 千博 愛知医科大学客員教授

第2回 放射性物質と食べ物の安全
11月26日 星野 香 岐阜大学教育学部客員教授

第3回 放射性物質と子どもの健康
12月17日 松井 英介 岐阜県環境医学研究所所長

第4回 歯の中の放射性物質
1月28日 藤野 健正 きょうどう歯科医師

第5回 暮らしの安全を考える
2月18日 大沼 淳一 元愛知県環境調査センター
主任研究員



・スケジュール

12:30～ 開場
13:00～ 開会の挨拶・講師紹介
13:05～ 学習会(60分)
14:05～ 質疑応答・意見交流会(30分)
14:35～ 閉会の辞・次回の案内

※15:00まで担当講師による個別の健康相談会や生活相談会、書籍などの販売を行います。

・託児有り

※託児希望者は事前に連絡ください。

・参加費無料・申し込み不要

・会場 **円徳寺** 岐阜市神田町6丁目24
名鉄岐阜駅から北へ徒歩5分

※日にちやテーマは講師の都合で変更になる場合もあります。

子どもの6人に1人が貧困といわれている中で、私達ぎふ学習支援ネットワークは、「なくそう子どもの貧困」を合言葉に、子ども達への学習支援や子ども食堂、メンタルケアや健康相談など、生活全般にわたる支援に取り組んできました。

そうした活動から見えてきた問題として、若いお母さん達は日々の生活に手一杯で、子どもの健康問題に関して、医学的知識が少なく、十分な配慮やケアができていない家庭が多いという事でした。

特に、東日本大震災(福島原発事故)以来、岐阜県内にも、放射線被ばくによる危険を避けて避難してきている子どもたちも多数いるにもかかわらず、放射能に対する正確な情報が行き届いていないことが多く、保護者や支援者の心配にも応えられていない現状があることがわかりました。

原発事故以来、汚染水は海に拡散し続け、被ばく線量の基準を上げ、さらに食品や放射性廃棄物の安全基準も高く、全国に放射能汚染が広がっている中、内部被ばくによる子ども達への健康被害は深刻です。福島だけに限らず、今や日本全国の子ども達の健康が懸念される状況になってきています。

そこで、学習支援ネットワークとしては、子どもたちへの学習支援に加えて、今年度新たに、保護者や支援者を対象にした「子どもの健康と未来を考える連続講座」を設け、子ども達の心身の健やかな成長を促すための支援法について学び考える学習会を企画しました。講師の先生方は、その方面の第一人者の先生方です。一般にわかるように分かりやすくお話をさせていただきますので、誰でも参加自由です。

一緒に学習しましょう。皆様、お誘い合わせてお越し下さい。

主催 一般社団法人 ぎふ学習支援ネットワーク
担当団体 岐阜キッズな(絆)支援室
問い合わせ 若岡 070-5330-1192

共催 3.11支援ネットワーク・ぎふ
協力 乳歯保存ネットワーク

(講師の先生方はこの会の医師や研究者の皆さんです。)

平成28年度 岐阜県社会福祉協議会「岐阜県ボランティア活動振興基金」の助成対象事業として実施しています。

